

持続可能な社会の実現に向けた取組について

平成27年度にスタートした三木創生も3年が経とうとしています。人口減少が進む中で「くらしの豊かさを実感し、いつまでも住み続けたいまち」をめざし、施策を展開しているところです。このたびは、最新の国勢調査結果及び今後予想される日本の将来推計人口などを踏まえ、次のステージとなる第2期創生計画(H32-36)を見据えた意見交換も行います。

(1) 現状

参照:資料1-2 平成27年度国勢調査の結果

平成27年度国勢調査の結果では、

- ・三木市の人口は77,178人、28,609世帯。平成22年と比べ人口が3,831人減少している一方、世帯数は、147世帯増加。
- ・単独世帯の比率が上昇傾向にあり(6,389世帯/28,609世帯)、その内、65歳以上の単独世帯が3,090世帯となり全世帯の内1割をも占める状況。
- ・合計特殊出生率は1.15から1.34へ上昇。
- ・未婚率は男性では増加し、女性では25歳から34歳の年齢区分で減少。
- ・老年人口(65歳以上)の割合が、26.2%から31.8%へ上昇。
- ・農業に携わる人口の内、60歳以上の割合が約74%。

(2) 問題提起

参照:別紙 未来年表

国レベルで人口減少を食い止める劇的な改善策が見込めない現状の中で、別紙「未来年表」で予想する人口減少が進行していきます。

持続可能な社会の実現に向け、地方自治体は、今後どのような取組を進めていけばよいでしょうか。

※なお、当日は、その他の内容についても意見交換させていただき予定としております。